

**2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)**

2020年10月30日

上場会社名 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社  
 コード番号 4783 URL <https://www.ncd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 下條 治  
 (氏名) 加藤 裕介  
 TEL 03-5437-1021  
 配当支払開始予定日 2020年12月2日

(百万円未満切捨て)

**1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	8,376	4.3	102		1		12	
2020年3月期第2四半期	8,752	6.9	325	41.3	343	40.9	230	41.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 24百万円 ( 90.0%) 2020年3月期第2四半期 241百万円 ( 27.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	1.54	
2020年3月期第2四半期	29.08	

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,065	3,981	35.8
2020年3月期	11,617	3,913	33.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,963百万円 2020年3月期 3,896百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		7.00		7.00	14.00
2021年3月期		7.00			
2021年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	3.2	200	78.6	230	75.9	150	76.9	18.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	8,800,000 株	2020年3月期	8,800,000 株
2021年3月期2Q	728,932 株	2020年3月期	858,632 株
2021年3月期2Q	8,002,320 株	2020年3月期2Q	7,941,368 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の影響による景気減速が続きました。5月下旬の緊急事態宣言解除後、経済活動は持ち直しに向かう動きが見られるものの、今後も先行き不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況下、当社グループの属する情報サービス業界におきましては、景気減速に伴いIT投資の抑制姿勢を打ち出す企業がある一方、労働環境の変化に伴う生産性向上のための自動化・省力化ニーズや旧来の基幹システムの刷新需要があるなど、IT投資意欲が底堅い側面もあります。

自転車・駐輪場業界における国内の動向におきましては、緊急事態宣言発出に伴う外出自粛により駐輪場利用者数が減少するなど感染症の影響がありましたが、緊急事態宣言解除後は、駐輪場利用状況に回復の兆しが見えております。また、公共交通機関を利用する際に生じる人との接触を避けるため、代替手段として自転車利用を始めるなど、「新しい日常」の中で自転車の価値を見直す動きが高まっております。

当第2四半期連結累計期間のIT関連事業（システム開発事業、サポート&サービス事業）におきましては、2020年3月期に受注した開発案件等が堅調に推移するとともに、既存顧客における新領域獲得も進んでおります。また、保守・運用案件では、人事、会計などの基幹業務を主に担っていることから、感染症の影響は少なく、これらの結果、前年同期比で増収増益となりました。

一方、パーキングシステム事業におきましては、緊急事態宣言解除後は、鉄道を利用する通勤・通学客数の回復や、営業を再開した商業施設の利用客数の回復に伴い、駐輪場稼働率は復調の兆しがあるものの、7月の記録的な長雨の影響もあり、前年同期比で大幅な減収減益となりました。

なお、雇用調整助成金等の営業外収益94百万円を計上しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、8,376百万円（前年同期比4.3%減）、営業損失102百万円（前年同期は営業利益325百万円）、経常損失1百万円（前年同期は経常利益343百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失12百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益230百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、以下のとおりであります。

#### システム開発事業

リモート環境整備に以前から取り組んでいたため、感染症の影響が軽微であることに加え、大手顧客のIT投資再開などにより新規案件獲得が堅調に推移していることから、前年同期比で増収増益となりました。この結果、売上高3,495百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益384百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

#### サポート&サービス事業

リモート環境にて顧客企業のシステム運用、業務サポートを行う体制が大半であるため、感染症の影響が軽微であることに加え、大型案件の継続受注や既存顧客で培ったノウハウを活かした同業他社での新規の案件獲得などが寄与し、前年同期比で増収となりました。利益面におきましては、進捗、採算管理の徹底が奏功し、前年同期比で大幅な増益となりました。この結果、売上高2,379百万円（前年同期比9.2%増）、営業利益165百万円（前年同期比188.6%増）となりました。

## パーキングシステム事業

機器販売におきましては、都市再開発に付随する駐輪場案件の獲得は順調に推移しましたが、駅や商業施設に併設する駐輪場開設の一部中止や延期が発生しました。駐輪場利用料収入におきましては、4月初旬の緊急事態宣言発出に伴う外出自粛要請による鉄道利用の通勤・通学客数の減少や、営業を自粛した商業施設の利用客数の減少によって、併設する駐輪場の稼働率が大幅に悪化しました。その結果、第1四半期の駐輪場利用料収入は前年同期比で50%程度減少しましたが、緊急事態宣言解除後の6月からは徐々に稼働率が回復し、7月の記録的な長雨の影響で一時低迷したものの、8月、9月は前年同期比20%程度の減少に留まりました。立地条件の違いにより、オフィスビルが集積する都心では、自転車で直接職場まで通勤する利用者の増加に伴い駐輪場の稼働率が一部で下げ止まる兆候が見られますが、在宅勤務に切り替える利用者が多い郊外の駐輪場では落ち込む傾向が見られました。これらの結果、売上高は前年同期比で減収となりました。利益面におきましては、固定費削減対策として、集金及びメンテナンス回数の最適化や外部委託業務の内製化を推進するとともに、不採算駐輪場の利益改善策を実施したことなどによって営業利益の減少幅を抑制したものの、営業損失となりました。この結果、売上高2,497百万円（前年同期比22.5%減）、営業損失30百万円（前年同期は営業利益461百万円）となりました。

なお、今後は駐輪場の稼働率が復調しつつも、テレワークやデリバリーサービスの活用など「新しい日常」が定着することにより、駐輪場利用料収入は前年同期比で一定程度減少することを想定しております。時間貸駐輪場における売上高の対前年度比の想定につきましては、以下のとおりであります。

(2021年3月期 時間貸駐輪場における売上高の対前年度比)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2020年5月22日時点の想定	63%減少	15%減少	10%減少	10%減少
2020年8月3日時点の実績と想定	約50%減少 (実績)	25%減少	10%減少	10%減少
2020年10月30日現在の実績と想定	約50%減少 (実績)	約22%減少 (実績)	20%減少	20%減少

上記のセグメント別影響予測は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、感染症の拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。業績見通しの修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,610,806	3,263,586
受取手形及び売掛金	2,782,706	2,171,571
商品及び製品	61,591	65,645
仕掛品	161,510	137,905
その他	1,028,791	951,453
貸倒引当金	△524	-
流動資産合計	6,644,881	6,590,162
固定資産		
有形固定資産	1,385,653	1,341,087
無形固定資産		
のれん	32,010	26,675
その他	80,499	113,031
無形固定資産合計	112,509	139,706
投資その他の資産		
リース債権及びリース投資資産	1,517,658	1,203,838
その他	1,957,032	1,790,478
投資その他の資産合計	3,474,691	2,994,317
固定資産合計	4,972,854	4,475,112
資産合計	11,617,735	11,065,274
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	812,272	592,390
短期借入金	907,301	1,414,300
1年内返済予定の長期借入金	85,000	60,000
賞与引当金	527,514	399,198
受注損失引当金	-	5,917
株式報酬引当金	81,365	-
その他	1,897,974	1,641,869
流動負債合計	4,311,427	4,113,676
固定負債		
長期借入金	30,000	-
リース債務	1,854,728	1,520,767
役員退職慰労引当金	72,992	27,143
退職給付に係る負債	1,262,360	1,256,911
資産除去債務	133,664	125,997
その他	39,110	39,367
固定負債合計	3,392,855	2,970,187
負債合計	7,704,282	7,083,863

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	438,750	438,750
資本剰余金	903,593	954,989
利益剰余金	2,900,018	2,832,099
自己株式	△317,463	△269,509
株主資本合計	3,924,897	3,956,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,333	30,379
為替換算調整勘定	△677	△961
退職給付に係る調整累計額	△44,998	△22,499
その他の包括利益累計額合計	△28,342	6,918
非支配株主持分	16,897	18,163
純資産合計	3,913,452	3,981,410
負債純資産合計	11,617,735	11,065,274

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,752,940	8,376,555
売上原価	7,300,456	7,302,515
売上総利益	1,452,483	1,074,039
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	344,460	398,278
賞与引当金繰入額	60,797	73,206
退職給付費用	24,688	25,043
役員退職慰労引当金繰入額	4,722	3,101
株式報酬引当金繰入額	8,565	17,985
その他	683,632	659,387
販売費及び一般管理費合計	1,126,865	1,177,002
営業利益又は営業損失(△)	325,618	△102,962
営業外収益		
受取利息	33	40
受取配当金	3,628	5,324
補助金収入	11,670	94,173
その他	17,961	15,408
営業外収益合計	33,293	114,946
営業外費用		
支払利息	8,360	10,358
その他	7,081	3,058
営業外費用合計	15,441	13,417
経常利益又は経常損失(△)	343,470	△1,433
特別利益		
固定資産売却益	-	288
補助金収入	-	12,000
特別利益合計	-	12,288
特別損失		
固定資産圧縮損	-	12,000
固定資産除却損	2,859	-
特別損失合計	2,859	12,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	340,610	△1,144
法人税等	107,479	9,918
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,131	△11,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,188	1,265
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	230,943	△12,329



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	233,131	△11,063
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,920	13,045
為替換算調整勘定	156	△284
退職給付に係る調整額	4,163	22,499
その他の包括利益合計	8,239	35,261
四半期包括利益	241,371	24,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239,183	22,931
非支配株主に係る四半期包括利益	2,188	1,265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。